



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月9日

東

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL <https://www.totenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 昇 (TEL) 03(3828)6272
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	3,447	3.3	321	1.1	287	△3.5	275	△0.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 107.25	円 銭 —
2025年2月期第3四半期	108.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 11,006	百万円 6,977	% 63.4
2025年2月期	10,902	6,692	61.4

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 6,977百万円 2025年2月期 6,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 2026年2月期の業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	1.9	510	4.1	470	1.8	440	2.3	171.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期3Q	2,572,871株	2025年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	4,693株	2025年2月期	4,611株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期3Q	2,568,217株	2025年2月期3Q	2,568,263株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善により緩やかな回復を続けております。一方で米国の関税政策および中国との関係悪化に伴う景気減速リスクや、物価上昇による消費者心理の冷え込みなど不透明な状況が継続しております。

外食業界におきましても、インバウンド需要等の高まりを背景に堅調な推移をみせておりますが、国産米をはじめとする原材料価格、物流費、人件費および水道光熱費など、各種コスト高騰の状況が続いております。

このような環境が続く中ではありますが、当社は引き続き、新規顧客の獲得を目指し、宴会、婚礼、グリル、外販の4部門において積極的な営業活動を展開しております。

さらに、将来的な増収に向けた店舗投資として2店舗の改修を実施するなど、各施設の継続的な見直しを進めています。

この取り組みの結果、当第3四半期累計期間におきましては宴会・婚礼が当社の旗艦店である上野店を中心に好調を維持し、売上高は前年ならびに当初の計画値を上回る水準で推移いたしました。

増収の要因といたしまして、宴会部門ではWEBでの訴求強化ならびに法人向け営業の成果が出ております。今後も底堅い需要が見込まれておりますが季節イベントや団体利用の提案を通じて、更なる集客を図ってまいります。

婚礼部門では価格競争から脱却し、新たなプランや演出の導入を通じて付加価値の提供を強化いたしました。これにより、顧客満足度を向上させ、組数を確保いたしました。

今後も激化する婚礼市場において競争に打ち勝つため、体験価値、接客力、デジタル戦略等の強化、見直しを行ってまいります。

グリル部門では、WEBを中心にプランを訴求し、既存顧客に加えて新規顧客獲得に努めました。引き続き、コンセプトの再徹底と差別化および顧客データの活用により集客を図ってまいります。

今後も企業価値向上と競争力強化を目指し、WEBでの訴求とセールス活動を一層強化するとともに事業の継続性を確固たるものとするために、設備および人材への戦略的な投資も並行して実施してまいります。

なお、売上高は前年を上回ったものの、営業利益は2店舗の改修に伴う修繕費の計上と、昨年実施いたしました2店舗の改装に伴う減価償却費の増加により微増となり、金利上昇に伴う支払利息の増加により経常利益、四半期純利益は前年を下回ることとなりました。

結果として、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比3.3%増の34億4,736万円、営業利益は前年同四半期比1.1%増の3億2,103万円、経常利益は前年同四半期比3.5%減の2億8,744万円、四半期純利益は前年同四半期比0.9%減の2億7,544万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①飲食業

飲食業におきましては、上記の理由により、売上高は前年同四半期比3.4%増の33億348万円、営業利益は前年同四半期比0.9%増の2億6,098万円となりました。

②賃貸業

賃貸業におきましては、前年同期並みで推移しており売上高は前年同四半期比0.5%増の1億4,387万円、営業利益は前年同四半期比1.6%増の6,004万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億395万円増加いたしました。

これは主に、宴会・婚礼部門が順調に推移し、売掛金が1億4,951万円増加したことなどにより、流動資産が1億2,220万円増加、固定資産が減価償却費の計上などにより1,824万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ1億8,110万円減少いたしました。

これは主に、借入金の返済などによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億8,506万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益2億7,544万円の計上などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,658,949	1,634,427
売掛金	280,054	429,567
商品及び製品	9,264	10,749
原材料及び貯蔵品	53,058	48,620
前払費用	35,460	36,432
その他	2,728	1,922
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	2,039,215	2,161,420
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,289,425	3,161,776
土地	4,553,539	4,553,539
その他（純額）	104,526	141,440
有形固定資産合計	7,947,491	7,856,756
無形固定資産		
	13,260	10,994
投資その他の資産		
投資有価証券	254,317	332,839
差入保証金	366,026	362,219
その他	282,601	282,638
投資その他の資産合計	902,945	977,697
固定資産合計	8,863,696	8,845,448
資産合計	10,902,912	11,006,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,004	139,180
短期借入金	1,343,800	1,258,400
未払法人税等	12,000	9,000
賞与引当金	28,800	14,800
その他	446,253	413,362
流動負債合計	1,923,858	1,834,743
固定負債		
長期借入金	1,671,200	1,567,400
長期未払金	67,544	67,544
繰延税金負債	60,148	88,776
再評価に係る繰延税金負債	62,805	64,492
退職給付引当金	401,520	383,015
その他	23,305	23,305
固定負債合計	2,286,524	2,194,534
負債合計	4,210,382	4,029,278

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資金	50,000	50,000
資本剰余金	7,691,465	7,691,465
利益剰余金	430,072	666,998
自己株式	△10,203	△10,276
株主資本合計	8,161,334	8,398,188
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119,399	169,293
土地再評価差額金	△1,588,204	△1,589,891
評価・換算差額等合計	△1,468,805	△1,420,598
純資産合計	6,692,529	6,977,590
負債純資産合計	10,902,912	11,006,868

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	3,337,887	3,447,362
売上原価	1,340,810	1,399,894
売上総利益	1,997,077	2,047,467
販売費及び一般管理費	1,679,419	1,726,431
営業利益	317,658	321,035
営業外収益		
受取利息	99	1,492
受取配当金	3,348	4,558
その他	1,263	2,552
営業外収益合計	4,712	8,603
営業外費用		
支払利息	23,451	41,124
その他	1,172	1,072
営業外費用合計	24,623	42,196
経常利益	297,746	287,442
特別損失		
固定資産除却損	11,552	3,120
特別損失合計	11,552	3,120
税引前四半期純利益	286,194	284,321
法人税、住民税及び事業税	8,285	8,874
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	8,285	8,874
四半期純利益	277,908	275,446

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	飲食業	賃貸業	計
売上高			
宴会	1,781,085	—	1,781,085
婚礼	665,031	—	665,031
グリル	678,101	—	678,101
売店他	62,761	—	62,761
顧客との契約から生じる収益	3,186,979	—	3,186,979
その他の収益（注1）	7,704	143,203	150,907
外部顧客への売上高	3,194,683	143,203	3,337,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,194,683	143,203	3,337,887
セグメント利益（注2）	258,577	59,080	317,658

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく不動産賃貸収入であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	飲食業	賃貸業	計
売上高			
宴会	1,770,704	—	1,770,704
婚礼	784,700	—	784,700
グリル	676,031	—	676,031
売店他	64,346	—	64,346
顧客との契約から生じる収益	3,295,782	—	3,295,782
その他の収益（注1）	7,704	143,875	151,579
外部顧客への売上高	3,303,486	143,875	3,447,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,303,486	143,875	3,447,362
セグメント利益（注2）	260,989	60,045	321,035

(注) 1. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく不動産賃貸収入であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	200,674千円	219,114千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。